



西高新聞

第303号
令和7年4月30日 発行
編集責任者 初村 一郎
http://www.nagasaki-nishi.ed.jp

NAGASAKI NISHI INFORMATION

信頼され続ける学校 学びがいのある学校 居場所のある学校

校長室から

「令和7年度 始めにあたって」

校長 初村 一郎

相撲界は、この20年近く外国人力士の台頭が目立ち、特にモンゴル出身の横綱が圧倒的な存在感ですが、ようやく最強の日本人横綱が誕生しそうで期待が膨らみます。相撲は8勝すれば勝ち越しますが、大学入試は最後の本番に1勝すれば勝ち。つまり1勝14敗でも許されますが、世の中そんなに甘くない。最後の1勝を勝ち取るには、やはり普段の生活がものを言います。『頭は2倍3倍でも、心も2倍3倍にできてこそ西高生であれ!』

今年度、西高3年目になります。引き続き、どうぞよろしく申し上げます。

令和7年度は12名の教職員と281名の新入生を迎え、新たにスタートしました。入学式では、一部お茶目な場面もありましたが、新入生の初々しい澆漑とした態度に心洗われました。以下、入学式式辞の一部を転載することで、私の思いを皆さんにお伝えしたいと思います。

保護者の皆さんへ… 多くの生徒は、卒業と同時に、この地を離れていきます。ということは、この3年間は、別れの前の3年間、ということになります。保護者としての大きな務めは、別れを3年間かけて惜しみ、最後の愛情をかけることです。一方、夢を叶えるためには、競争は避けて通れないことも現実です。学校と一緒に、子どもを鼓舞激励しながら支えていく、そういう、厳しくも深い愛情をかける時期でもあります。

生徒の皆さんへ… 私たちの日常は、予想もできない出来事に満ちています。東日本大震災や能登半島地震、この長崎でも今から42年前、1時間当たりの雨量が国内で最高を記録した長崎大水害がありました。当時、高校2年生だった私は、ちょうど帰宅途中の出来事に、自分は夢でも見ているのだろうか、これは現実の出来事なのかと思いながら、必死で家にたどり着いたことを覚えています。私は今、大学病院の近くに住んでいますが、度々、救急車のサイレンの音を耳にします。たった今、人生の危機に立ち向かっている人がいるんだと、祈るような気持ちになります。

私たちはこうした苦境に対して、どのように対処すべきなのか。2つの視点から述べてみたいと思います。1つは、「誰も助けてくれない」。2つ目は、「誰かが助けてくれる」。

「自分だけはいつも自分の味方」という言葉があります。自分をいちばんよく分かっているのは、誰よりも自分自身です。たとえ他人がわかってくれなくても、自分が自分の応援をしなくてどうするんだ、自分を

好きになろう、というものです。何かを乗り越えようとしているとき、この言葉には力づけられます。自分だけは決して自分を裏切らない、この窮地を脱するために全力を尽くすんだという気持ちになります。そのためにも、自分を助けるには、それだけ頼りがいのある人間になっておく必要があります。体力、知力ともに、自分を磨いていかななくてはなりません。

では、もうひとつの視点、「誰かが助けてくれる」についてはどうでしょうか。最初から他人の助けをあてにした生き方は好ましくありませんが、「助けてくれる人が必ずいる」ことは確かだと思います。人間一人では生きていけません。一人で解決できず、どうしても辛いときは、周りに頼る勇気も必要です。例えば、親、きょうだい。命に代えても皆さんを守ろうとするでしょう。日頃、小さな衝突はあるかもしれませんが、大した問題ではありません。友人、先輩、後輩、先生、地域の方も助けてくれるでしょう。

まずは、自分を磨くこと。自分の大切さがわかってきたら、人の痛みも察することができます。心を砕き共感してこそ、人を助けようとする気っ風が生まれてくるものと思います。

長崎西高は、個人の働きも、集団の働きも、ともに追い求めていく学校です。一人一人が先輩の背中を見て、伝統を受け継ぎ、ここぞというときは、西高の総合力を持って立ち向かう。そして、志高く、のびのびと、明るく楽しく自走しながら、自分で決めた道を貫き通す。そういう気概あふれる西高生に、新入生の皆さんが、変身していくことを期待します。

『燃えろッ!』感謝の気持ちと誇りを胸に、これからの西高での生活が、心燃やす輝かしい軌跡になることを願っています。

第80回入学式挙行 8日(火)

令和7年度の入学式が4月8日(火)、多くの来賓、保護者ご出席のもと行われ、80回生281名が晴れて自律の園の門をくぐりました。式では、初村校長が281名の入学を許可した後、式辞の中で「志高く、のびのびと、明るく楽しく自走しながら、自分で決めた道を貫き通す。そういう気概あふれる西高生に、新入生の皆さんが、変身していくことを期待します。」と激励のメッセージを送りました。次に新入生代表の島峯広幹さんが「西高生としての誇りを持ち、『自律』のもとに、志高く、懸命に努力します。」と宣誓しました。式終了後、在校生代表で生徒会長の登立愛来さんが「西高での3年間は、充実しているからこそ、あっという間に過ぎていきます。将来の自分の理想を描き、悔いのない3年間を送ってください。」と歓迎のことばを述べました。新入生の皆さんが西高での3年間でさまざまなことに積極的に取り組み、充実した高校生活を送ることを期待しています。



【総務部主任 植木 正明】

WE-Start campを終わって 9日(水)～10日(木)

4月9日(水)から10日(木)にかけて、1学年ではWE-Start campを実施しました。1年7組の池永成美さんによる生徒代表挨拶を通して、これから始まる高校生活に対する希望と決意を共有し、1日目スタートしました。集団行動訓練や校歌練習では各クラスの体育委員を中心に初めての協働が行われ、学級活動では自己紹介を中心にクラスメートとの親睦を深めました。2日目は各クラス対抗による集団行動コンクールに向けてコミュニケーションをはかりながら練習し、どのクラスも独自の隊形を組み入れた集団行動を披露することができました。その後のレクリエーションでは長縄飛びが行われ、励まし合い、積極的に楽しむようを通して、それぞれのクラスで良い関係性が築けたようです。

【第1学年副主任 清家 知子】

学年だより

第1学年

－ やるべきことに全力で取り組もう －

ご入学おめでとうございます。入学して1か月ほど経ちましたが、入学式、WE-Start-camp、授業や日頃の会話などを通して、新入生（80回生）の高校生活に対する不安を抱えながらもやる気や期待に満ちた雰囲気強く感じることができています。担当する職員一同とてもうれしく思います。

部活動も本格的になってきました。上級生に色々と教わりながら各部活動内で活躍できる人材となつてほしいと思います。学習面においても中学校時代より専門的な内容をより多く学ぶこととなります。部活動と学習のバランスをとって、文武両道を実現させていってほしいと思います。

今後は学習、部活動のみならず、運動会・西高祭などの学校行事、クラス内での係活動など、学校生活において多くの活動に従事していきます。何事にも全力でチャレンジし、1年後、「大変だけど楽しい、充実した学校生活を送れている」と自信をもって言えるように逞しく成長していってほしいと願っています。我々職員も全力でサポートいたします。保護者の皆様におかれましても、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

【第1学年主任 西 恭秀】

第2学年

－ 自律の体現者になろう －

新年度早々に行った学年集会において、「広い視野をもって物事を考えていこう」ということについて話しました。2学年は文理選択に伴うクラス分けがなされ、地歴公民や理科においては専門性の高い授業が展開されます。また、本校独自のSSHが本格的に始動することで、西高生の探究心がより高まっていくのが2年生です。それぞれの授業に対する意欲だけでなく、日常生活や社会に興味・関心の目を向け、自分の進路や方向性について、広い視野を持ち、周囲の意見を柔軟に受け入れながら、悩み抜いてもらいたいと思っています。また、各種行事や部活動においては、2年生が中心的な役割を担わなくてはなりません。今まで、先輩方からの指示で行動することも多かったと思いますが、自ら考えて行動に移す姿勢を示してほしいと思います。まさにその姿勢が、西高が掲げる「自律」そのものです。目標を高く持ち、それに向かって歩みを進めてほしいと思います。皆さんの活躍が楽しみです。

【第2学年主任 浦 史子】

第3学年

－ 眸をあげよ 涯遠く －

78回生がいよいよ3年生になりました。最高学年として生徒たちの今年にかける想いがひしひしと伝わってきます。新しい教室、新しいクラスメイトや先生たち。新しい環境にすぐさま順応し、ともに学び高め合う様子を垣間見るにつけ、頼もしく感じています。

先日の学年集会では、「今日を精一杯生きる」ことの大切さを話しました。未来のことを考え出すと、いろいろなことが胸をよぎります。雑念を封印し、今できることを一生懸命に取り組むこと。そしてその取り組みを継続すること。残された高校生活には限りがあります。時間の自己管理が大変重要になることを肝に銘じてしっかりと頑張ってもらいたいと思っています。

当たり前のことですが生徒各人にとって初めての大学受験です。さまざまな悩みや不安もこれから生まれでてくるはずですが。保護者の皆様と協力しつつ、本人たちに良き導きと支援が実現できるよう私たち教職員もしっかりと最後まで伴走していきます。最後の一年となりますが、これからは保護者の皆様の変わらぬご支援を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

【第3学年主任 石橋 可巴】

令和7年度の生徒指導について

本校、自律育成部では、校訓「自律」の体現を目指した指導を行います。自律とは、周囲への配慮や思いやりを前提として、自分の取るべき行動を選択決断できるということです。そうすることで皆が過ごしやすく、高い志を実現できる西高になるようにしていきたいと思っています。指導の中心となるのが、基本的な生活習慣の確立と環境美化の充実の2点になります。具体的には以下の(1)～(5)を重視して生徒に声かけを行っていきます。

- (1) 「端正な容儀の徹底」
- (2) 「挨拶の定着」
- (3) 「ルールの遵守・マナーの向上」
- (4) 「校内美化の徹底」
- (5) 「安心・安全な学校づくり」

どれも大切なことですが、特に「挨拶」と「校内美化」に重点的に取り組みます。西高生の挨拶や清掃活動が悪いわけではありません。しかし、「もっとできる!」と感じる場面があることも事実です。一見地味に見られますが、しっかりと挨拶できること、清掃活動に取り組むことができることは、社会に出てからも必要とされる非常に大切なスキルです。西高生は卒業後、社会の中核を担うであろう人材が多く在籍しています。そのような西高生だからこそ、挨拶と清掃活動を大切にしたいと考えています。

【自律育成部主任 前田 敦広】

令和6年度の大学入試結果と今年度の進路指導について

《令和6年度大学入試結果》

大	学	名	現役計	既卒計	総計
東	京	大	4		4
京	都	大	2	4	6
大	阪	大	4	2	6
九	州	大	28	2	30
名	古	屋	1		1
東	北	大	1		1
神	戸	大	3	3	6
長	崎	大	51	12	63
熊	本	大	13	1	14
そ	の	他	56	12	68
国	立	大	163	36	199

大	学	名	現役計	既卒計	総計				
長	崎	県	立	大	2	2	4		
そ	の	他	の	公	立	大	6	0	6
公	立	大	学	計	8	2	10		

国	公	立	大	学	計	171	38	209
---	---	---	---	---	---	-----	----	-----

国	公	立	大	医	・	医	10	4	14
国	公	立	大	・	畜			6	6
国	公	立	大	・	薬		6	1	7

私	立	大	学	計	212	63	275	
各	種	専	門	学	校	2		2

令和6年度の大学等入試においては、現役生で国公立大学171名、私立大学212名、各種専門学校2名の合格者を輩出することができました。合格した皆さん、本当におめでとうございます。

<令和7年度の進路指導方針>

本校の進路指導におけるスローガンは、昨年度同様に「①努力に値すべき目標（第1志望）を掲げ、②合格するための努力（学習・課外活動）を惜しまず、③最後まで絶対にあきらめない」の3つです。これらのスローガンのもと、生徒一人ひとりが主体的な進路選択・進路実現ができるように、教職員一丸となって全面的に支援していきたいと考えております。保護者の皆様の引き続きのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【進路指導主事 月川 希】

スクールカウンセラー紹介と相談案内

本校には今年度も2名のスクールカウンセラーが配置されています。毎週月曜日の午後に林田純雄先生（本校1年目）、毎週火曜日の午後に内野成美先生（本校16年目）が来校されます。生徒の皆さんはもちろん、保護者の方々の相談にも対応して専門的なアドバイスをしてください。希望される場合は、担任か生徒支援担当教員（1年：坂瀬・小玉 2年：浦・島田 3年：前田・溝上 養護教諭：田淵）までご連絡ください。生徒の皆さんは学習や部活動など、色々な悩みを抱え、特に新入生は新しい環境で不安な事も多いことでしょう。どんな小さな心配事でも遠慮なく相談してください。話すだけで心が軽くなることもありますし、アドバイスをいただき前向きに考えることができるようになります。スクールカウンセラーの先生方にはストレスマネジメントの講話もしていただきます。なお、担任・副担任や生徒支援部担当職員にも随時相談可能です。

【生徒支援部主任 島田 恭子】

新しく着任した教職員からの挨拶

☉ 富田 和宏 事務長 佐世保西高校より

伝統ある長崎西高校に畏敬の念を抱かざるを得ませんが、情熱を持って誠実に業務に臨んで参りますので、よろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

☉ 富永 征子 教頭 家庭 県教育庁 高校教育課より

歴史と伝統のある、そして母校である長崎西高校で勤務できることを大変光栄に思っています。早く西高の一員になって、生徒の皆さん、教職員の皆さんの支援ができるよう、一生懸命頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

☉ 松尾 真澄 教諭 国語 西彼杵高校より

伝統ある西高に赴任し、身の引き締まる思いです。西高に赴任することが知られる日の朝、通勤中に美しい虹がかかっていました。生徒のみなさんと一緒に、希望へと向かって進んでいきたいと思っています。担当教科は国語科です。よろしくお願いいたします。

☉ 中野 和哉 教諭 数学 川棚高校より

長崎西高校での勤務が決まり、緊張と不安で身の引き締まる思いです。担当教科は数学です。少しでも早く、長崎西高校の一員となれるように、頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

☉ 松尾 和宏 教諭 理科(物理) 新規採用(神戸甲北高校より)

このたび、長崎西高校に新規採用者として着任しました松尾 和宏（まつお かずひろ）と申します。教科は理科です。昨年度までは兵庫県の公立高校の教員をしておりました。23年ぶりにふるさと長崎に戻ってまいりました。環境が大きく変わり、不安なことも多いのですが、一日でも早く学校に慣れ、生徒の皆さんと共に学び成長していけるよう、努力をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

☉ 前田 悠太 教諭 英語 壱岐高校より

この度、壱岐高校より赴任いたしました前田悠太と申します。担当教科は英語です。これまで小規模な学校での勤務経験しかございませんので、学校の規模や職員数、生徒数の多さに大変驚いております。これからは、生徒の皆さんと共に学び、感動を分かち合いながら、互いに成長していければと思っています。精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新しく着任した教職員からの挨拶

☉ 田中 瑞穂 教諭 国語 新規採用(島原高校より)

新しく着任した田中瑞穂と申します。担当教科は国語です。県内随一の、伝統と実績ある高校に赴任することとなり、背筋が伸びる思いです。様々な面でサポートできるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

☉ 久保 友郁 保健体育 新規採用(諫早東高校より)

令和7年度より、新任として着任いたしました、久保友郁と申します。担当教科は保健体育です。昨年度まで長崎県立諫早東高等学校で講師として3年間勤務して参りました。積極的にコミュニケーションを取りながら、生徒の皆さんが充実した学校生活を送れるように日々向き合っています。専門競技は野球で、小学生から大学まで選手、アナリストとして活動してきました。他にもパラスポーツ指導員の資格をいかし、障害の有無や運動の得意不得意に関わらず、誰もがスポーツに楽しく関わられるよう取り組んで参ります。

☉ 岡 湧士 講師 保健体育

日本体育大学を卒業し、この度、長崎西高等学校の保健体育科教員になりました岡 湧士と申します。体育の素晴らしさ、仲間の大切さをスポーツを通して生徒のみなさん伝えていきたいと思っています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

☉ 松川 広樹 講師 理科(地学)

この春、長崎大学の教育学部を卒業しました、松川広樹です。地学を担当させていただきます。地学という分野の面白さを伝えていけるよう、努めてまいります。社会人1年目ですが、精一杯努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

☉ 河浪 史子 事務現業 県教委教育政策課より

始めまして。河浪と申します。学校の事務室での勤務は初めてで、わからないことばかりですが西高生の力に少しでもなれるように、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

☉ 中村 さつき 業務補助

遠い昔、お世話になった母校に本年度補助職員として、ご縁をいただいたことに感謝しております。又、同時に身の引き締まる思いも抱いております。校訓の「自律」は、卒業後の私を支え続けてくれた大切な言葉です。「志高く夢かなう長崎西」の一員として保護者、地域、生徒の皆様々に恥じぬよう精進してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

《WE-Start campの様子》



《歓迎遠足の様子》

